

～みんなでつなぐしなのの川～

信濃川水系（千曲川）緊急治水対策プロジェクト

「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進



かみ いま い

上今井遊水地整備



国土交通省 北陸地方整備局

千曲川河川事務所



令和元年東日本台風豪雨水害への対応

- 令和元年10月東日本台風豪雨水害では、信濃川水系の上流域を中心に記録的な豪雨となり、長野市穂保地先では堤防が決壊し、その他にも千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって、堤防の越水氾濫や内水氾濫による家屋の浸水など、流域全域に甚大な被害が発生しました。
- 流域での甚大な被害を受け、信濃川水系では令和2年1月に「**信濃川水系緊急治水対策プロジェクト**」を策定し、国、県、市町村が連携して、流域一体となった防災・減災対策を推進しています。

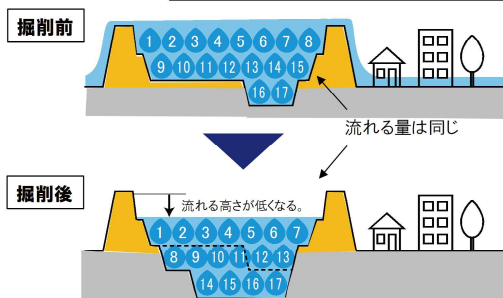


緊急治水対策プロジェクト — 水位を下げるための対策 —

- 洪水時の河川水位を低下させる取り組みとして、堤防整備・河道掘削による洪水流下断面の拡大とともに、洪水を一時的に貯水する遊水地の整備を行います。

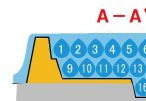
<河道掘削>

川の中の底を掘ると、流れる水の量が同じでも、流れる水の高さが低くなり、安全に流れるようになる。

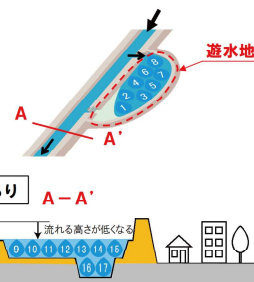


<遊水地等の洪水調節施設>

遊水地なし



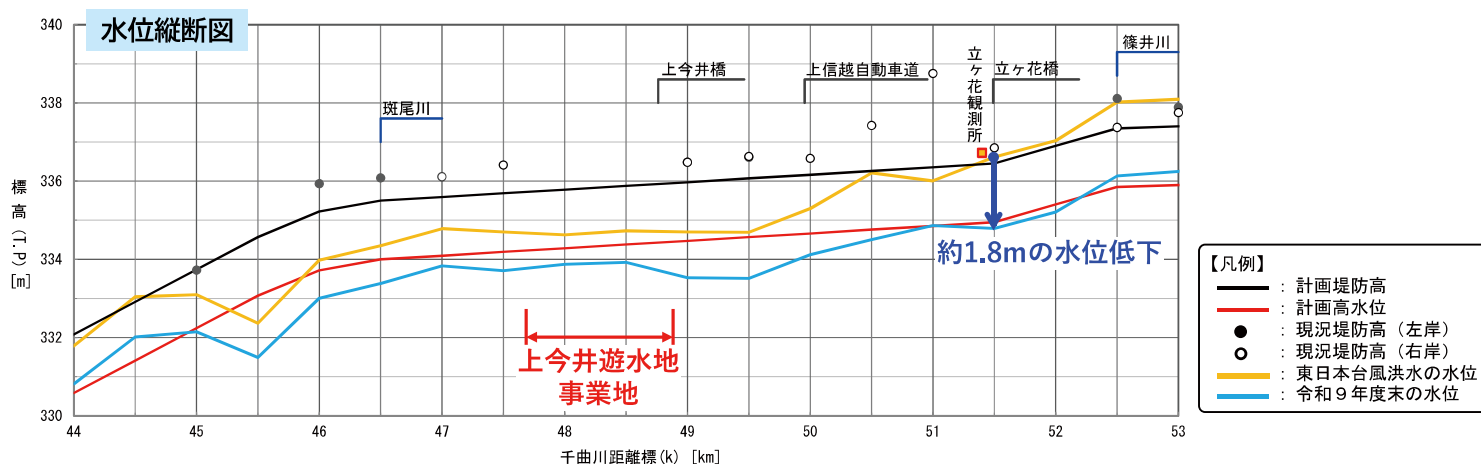
遊水地



遊水地に川の水の一部を一時的に貯めることで、下流を流れる水の高さが低くなる。

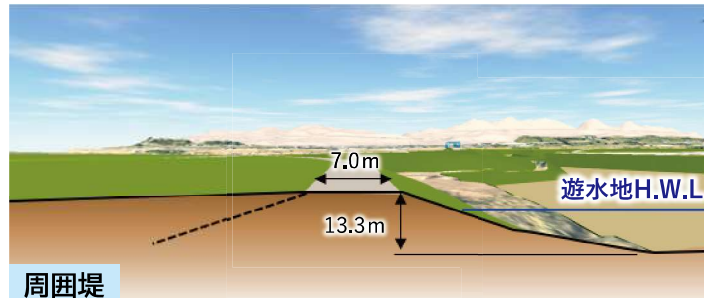
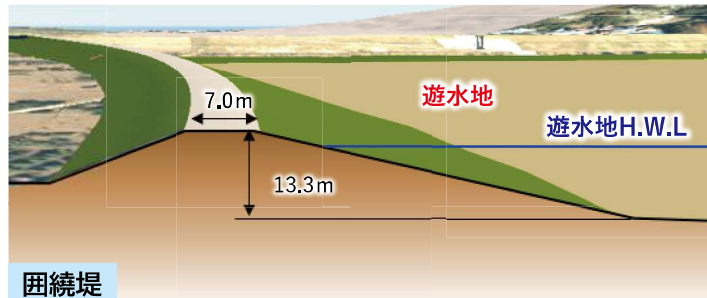
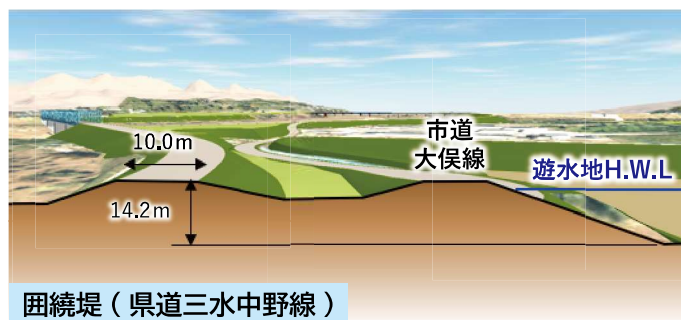
プロジェクトによる効果

- 遊水地整備、河道掘削を実施することで、令和元年10月洪水に対して、立ヶ花地点で約1.8mの水位低下効果が得られ、緊急治水対策プロジェクトの目標である「令和元年東日本台風洪水における千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止」を達成させます。



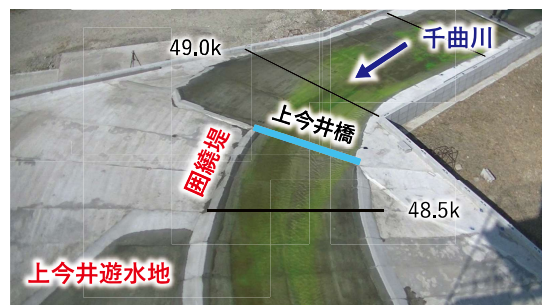
上今井遊水地の整備内容

- 上今井遊水地は、1872年（明治5年）の新川堀りにより付け替えられた旧河川敷を事業地として、遊水地としての器を形成する^{いぎようてい}囲繞堤と^{しゅういてい}周囲堤を整備し、貯水容量を確保するために遊水地内の掘削を行います。
- ^{いぎようてい}囲繞堤から洪水を取込むための越流施設、貯水した洪水を排水するための^{ひもん}樋門の整備を行います。



数値解析と水理模型実験による検討

- 上今井遊水地の設計では、数値解析によって検討した目標とする効果が得られるかを検証し、さらに必要な改良を加えることを目的に、水理模型実験を行っています。



項目	内容
再現範囲	本川河道、遊水地、付帯施設
模型縮尺	1/100
模型範囲	46.3k～50.0k
模型規模	水路延長58m、模型面積280 ^m ²
付帯設備	給水管、流量測定設備、整流槽、下流端水位調節設備、排水路

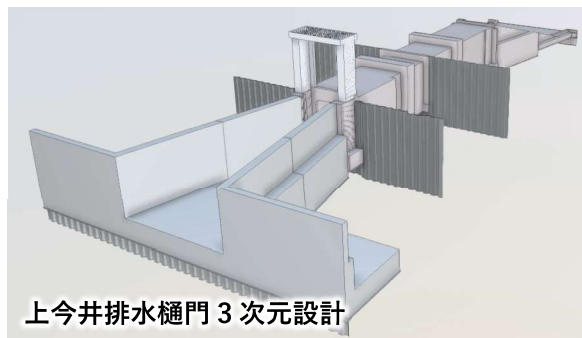
地域との合意形成

- 事業計画地に係わる地元地域では、遊水地事業の推進と今後の地域づくりを検討するための「遊水地事業に伴う地域づくり対策委員会」、掘削土砂の有効活用を図る観点から事業計画地对岸への埋立てを推進するための「上今井左岸埋立て委員会」の2つの対策委員会を組織していただきました。
- 地元説明会の他、対策委員会・地域役員への定期報告会の開催、合同現地調査などを通じ、細部にわたる調整をさせていただきながら、事業を進めています。



デジタル・トランスフォーメーション（DX）の取組み

- 国土交通省では、インフラ分野におけるデータとデジタル技術を活用し、社会資本や公共サービスを変革する取組みを推進しています。
- 上今井遊水地の整備にあたっては、計画、調査、設計段階から3次元モデルを導入し、その後の施工、維持管理も含めた一連の建設生産・管理システムの効率化、高度化に取り組んでいます。



上今井排水樋門 3次元設計



国土交通省 北陸地方整備局
千曲川河川事務所

〒380-0903 長野市鶴賀字峰村 74
☎ 026-227-7611 (代表)
受付時間：9:00～17:00 (土日祝日を除く)
🌐 <https://www.hrr.milt.go.jp/chikuma/>



事務所HP



信濃川水系
緊急治水対策
プロジェクトHP